

2024年11月期 第2四半期 決算説明会

イーサポートリンク株式会社

2024年7月25日

 **E-supportlink, Ltd.**

証券コード 2493



INDEX

- 2024年11月期第2四半期 連結決算概要
- 2024年11月期 上期振り返りと通期連結業績見通し
- 中期経営方針 目指す姿と全社方針

2024年11月期第2四半期 連結決算概要

E-supportlink, Ltd.

新規顧客の獲得、システム利用料金の改定等により 売上・利益ともに伸長

	実績	前年同期比
売上高	2,574百万円	+394百万円
営業利益	72百万円	+90百万円
経常利益	82百万円	+94百万円
親会社株主に帰属する 四半期純利益	35百万円	+47百万円

1 料金改定

増加コストを踏まえ、システム利用料金を改定

増加した開発・保守等システム関連の費用を価格転嫁

2 新規顧客

新規顧客の獲得

前期末に成約した顧客へのシステム導入が開始
業務受託サービスも新規顧客獲得

3 取扱高増

各種サービスの取扱高の増加

受託業務量、システムトランザクション量が増加
青果売場構築支援事業のサービス導入店舗、取扱高が増加

単位：百万円

	2023年11月期	2024年11月期第2四半期		
	第2四半期	実績	増減額	増減率
売上高	2,179	2,574	+394	+18.1%
売上原価	1,384	1,656	+272	+19.7%
売上総利益	795	917	+122	+15.4%
販売管理費および 一般管理費	812	845	+32	+4.0%
営業利益	△17	72	+90	—
経常利益	△11	82	+94	—
親会社株主に帰属する 四半期純利益	△11	35	+47	—
1株当たり 四半期純利益（円）	△2.71	7.92	+10.6	—

※百万円未満切り捨て。縦計、横計の合計値が合わない場合がございます。

単位：百万円

	2023年 11月期末	2024年11月期第2四半期末		
		実績	増減額	増減率
現金	2,902	2,545	△356	△12.3%
ソフトウェア	242	243	+0	+0.2%
資産合計	5,568	5,238	△330	△5.9%
負債合計	2,164	1,811	△353	△16.3%
株主資本	3,393	3,406	+12	+0.4%
純資産合計	3,404	3,427	+22	+0.7%
負債・純資産合計	5,568	5,238	△330	△5.9%

※百万円未満切り捨て。縦計、横計の合計値が合わない場合がございます

単位：百万円

	2023年11月期 第2四半期	2024年11月期 第2四半期
税引き前利益	△11	62
減価償却費及び償却費	54	48
営業活動によるC F	415	105
投資活動によるC F	△108	△ 228
有利子負債増減	△160	△ 210
財務活動によるC F	△186	△ 234
現金及び現金同等物の増減額	120	△ 356

※百万円未満切り捨て

単位：百万円

	2023年11月期 第2四半期	2024年11月期 第2四半期	前年同期比
売上高	1,488	1,710	+ 14.9%
営業利益	460	562	+ 22.3%

セグメントの概況

- 輸入青果物サプライチェーン事業は、業務体制を整理・再構築。営業強化により、新規顧客を獲得、既存顧客の業務受託量も増加。
- 生鮮MDシステム事業は、堅調に推移。量販店グループ各社への導入を推進。システムの運用・保守コストの増大に伴い、システム利用料金を改定
- ドラッグストア向け青果売場構築支援事業は、事業コンセプトに対する小売りチェーンストアの需要が増加し、導入店舗数が拡大。
- エスマルシェは既存顧客の取扱高が堅調に推移。

単位：百万円

	2023年11月期 第2四半期	2024年11月期 第2四半期	前年同期比
売上高	691	864	+25.1%
営業利益	△41	△55	—

セグメントの概況

- りんご販売については、令和5年産りんごが天候不順の影響により十分な集荷量を確保できず、売上高は減少
- さつまいもの調達・販売の強化により、全体の売上高は伸長
- 有機農産物販売は、主力の輸入有機商材が好調
- 一方、国産の有機商材は調達が安定せず低調

2024年11月期 上期振り返りと通期連結業績見通し

E-supportlink, Ltd.

＜上期のポイント＞

- ① 既存顧客からの業務受託量増加により売上・利益伸長
- ② システム運用・保守コストの上昇分をサービス価格へ反映

営業強化と新規顧客獲得によって更なる売上・利益の拡大を目指す

事業	下期取り組み内容
輸入青果物 サプライチェーン事業	<ul style="list-style-type: none"> ● 業務受託サービスは既存顧客の取扱い業務の拡大 ● 新規顧客の獲得によるシステム利用、業務受託の売上増
生鮮MDシステム事業	<ul style="list-style-type: none"> ● 顧客企業のグループ再編取り込み ● 運用支援によってシステム有効活用を推進し、利用量を拡大 ● 顧客要望に応じ、追加機能の受託開発により売上を伸長 ● 新規顧客の獲得、営業基盤の拡充
その他	<ul style="list-style-type: none"> ● 青果売場構築支援事業は、店舗展開の加速とパートナー企業との連携強化による日販の向上 ● es-Marché（エスマルシェ）は、機能連携を踏まえて生鮮MDシステム利用顧客へ導入を推進するとともに、新規の導入企業を獲得

＜上期のポイント＞

- ① 天候不順により令和5年産りんごの収量不足
- ② さつまいも、輸入有機農産物の販売体制を強化

商品調達の安定化が最大の課題

事業	下期取り組み内容
りんご販売	<ul style="list-style-type: none"> ● 本年産の集荷量拡大に向けた生産者への営業強化、自社農園・契約農園の拡大
国産青果物販売	<ul style="list-style-type: none"> ● 引き続き、さつまいもの調達・販売体制を強化 ● 優良生産者の開拓を進め、季節商材の調達・販売を強化
有機農産物（子会社）	<ul style="list-style-type: none"> ● 自社農園農作物の収穫・販売強化、優良生産者との連携 ● 輸入果実を中心に優位性のある商材の販売強化

前期比増収と営業利益108百万円を計画

単位：百万円

	2023年11月期 実績	2024年11月期		前期比
		第2四半期実績	通期見通し	
売上高	4,563	2,574	5,563	+ 999 (+21.9%)
営業利益	82	72	108	+ 26 (+32.7%)
経常利益	76	82	108	+ 32 (+42.6%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	46	35	76	+ 29 (+62.3%)

中期経営方針 目指す姿と全社方針

E-supportlink, Ltd.

当社は現在および将来において
この2つのテーマに合致した事業のみを営んでいきます

地域社会の維持、発展、活性化への貢献

持続的に成長できる社会創りへの貢献



**社会の成長に貢献しつつ
自らも持続的に成長する企業であり続けます。**

全ては生産者と
生活者のために

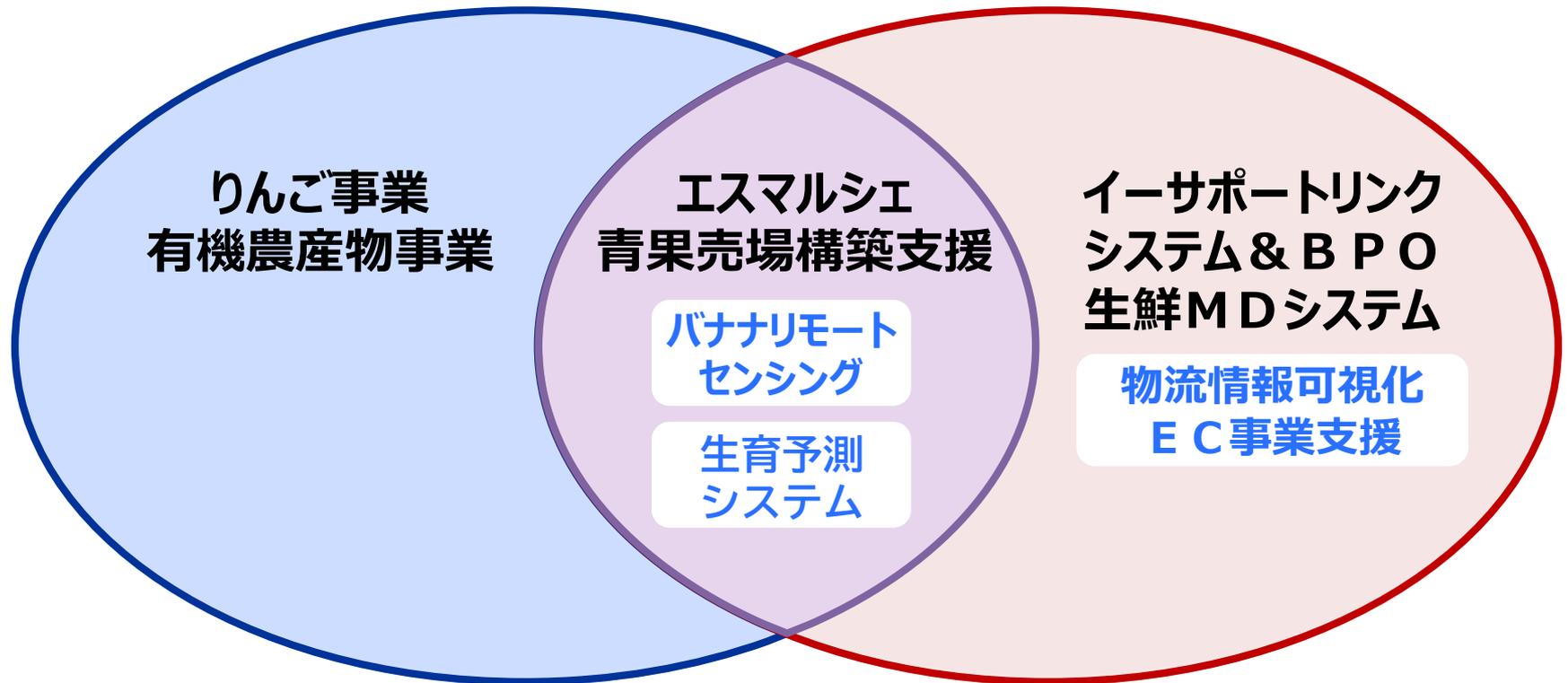
当社のサービスを通じて、生産者と生活者が幸せになること

生産者が作った青果物を、途切れる事なく生活者の食卓に届け続けること
青果物の生産から流通、消費に関するすべて人々を幸せにすること

生産者と生活者に価値を提供できる企業であり続けたい。

地域社会への貢献

持続可能な社会への貢献



**既存事業および新規事業は、
地域社会や持続可能な社会に貢献するものになっている。**

地域社会の発展への貢献と持続可能な社会創りのために

実現するための3つの目標

儲かる農業
生産者の所得が
向上する

青果物が適正かつ
環境に調和した仕組みで
流通する

生活者へ食の
安定供給の仕組み
が出来上がる

畑から食卓まで食のサプライチェーンを構築

食に関わるすべての人々が幸せになる事業を進めていく。

地域社会の発展への貢献と持続可能な社会創りのために

当社の最も重要な資産は人的資本

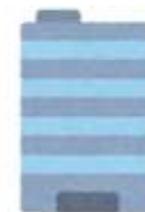
ESLで働く全ての人に
期待すること

誠実
自立
貫徹
成長意欲



ESLで働く全ての人に
約束すること

活躍の“場”と
“機会”を提供



- 信頼感と一体感の醸成を通じた持続的な成長
- 新たな価値を継続的に創造する

**自らのありたい姿を実現するために、公正な処遇と組織風土改革、
多様な個性・価値観の尊重、能力開発支援を進めていく。**

地域社会の発展への貢献と持続可能な社会創りのために

5つの基本原則

株主の権利と
平等性の確保

株主以外のステークホル
ダー（社員、地域社会
等）との適切な協働

適切な情報開示と
透明性の確保

取締役会等の
責務

株主との対話

当社の持続的な成長と中期的な企業価値の向上に努め
ステークホルダーに対して適切に利益を還元する。

流通情報の価値を高める

青果物における標準コード体系化 生産情報から流通販売までの情報を繋ぐ

生産者



栽培情報・収穫時期

仕入先・運送会社



生産者情報・包装荷姿

配送ルート・車両情報

小売物流センター



配送ルート・車両情報

Co2排出量

小売店舗



顧客情報・購入情報

生活者



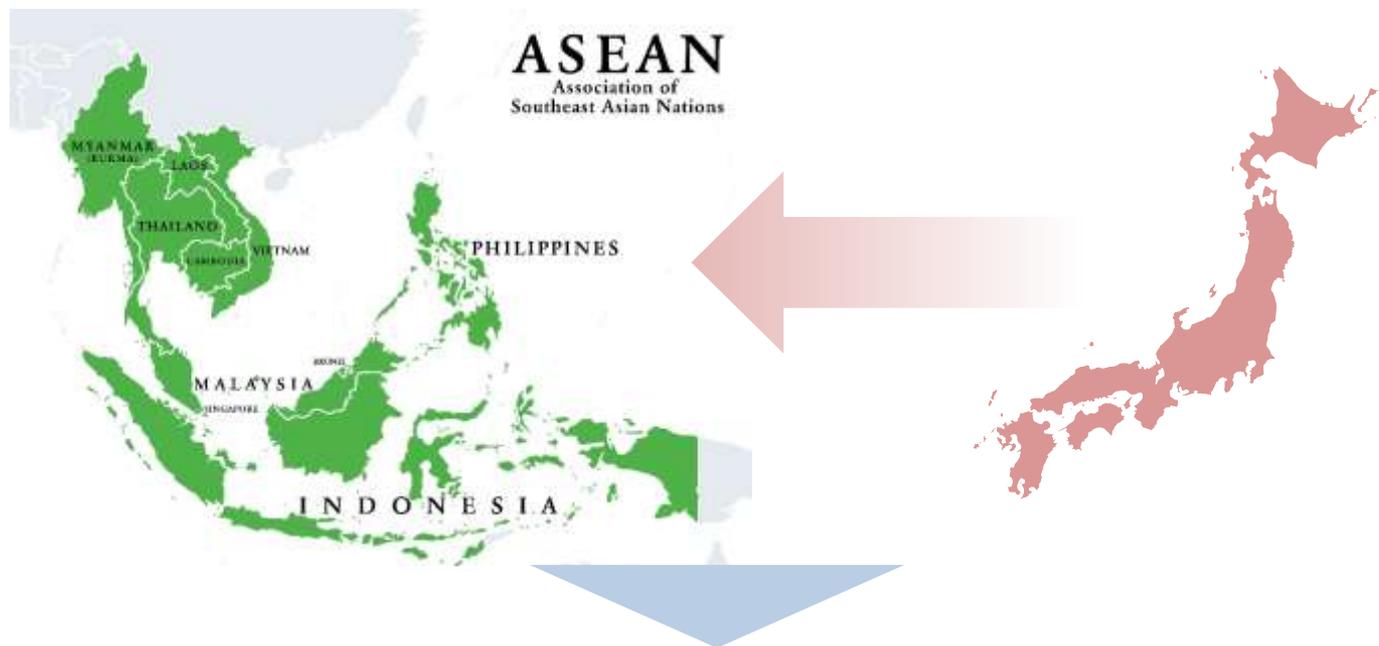
購入レビュー・感想

青果物流通に存在する情報にプラスαの価値を付加
青果物流通全体にイノベーションを創出

最適な青果物流通の仕組みをデザインする。

日本の流通モデル／技術の海外展開

日本のサプライチェーンシステムの海外展開
安定した青果物流通による広範な地域社会への貢献



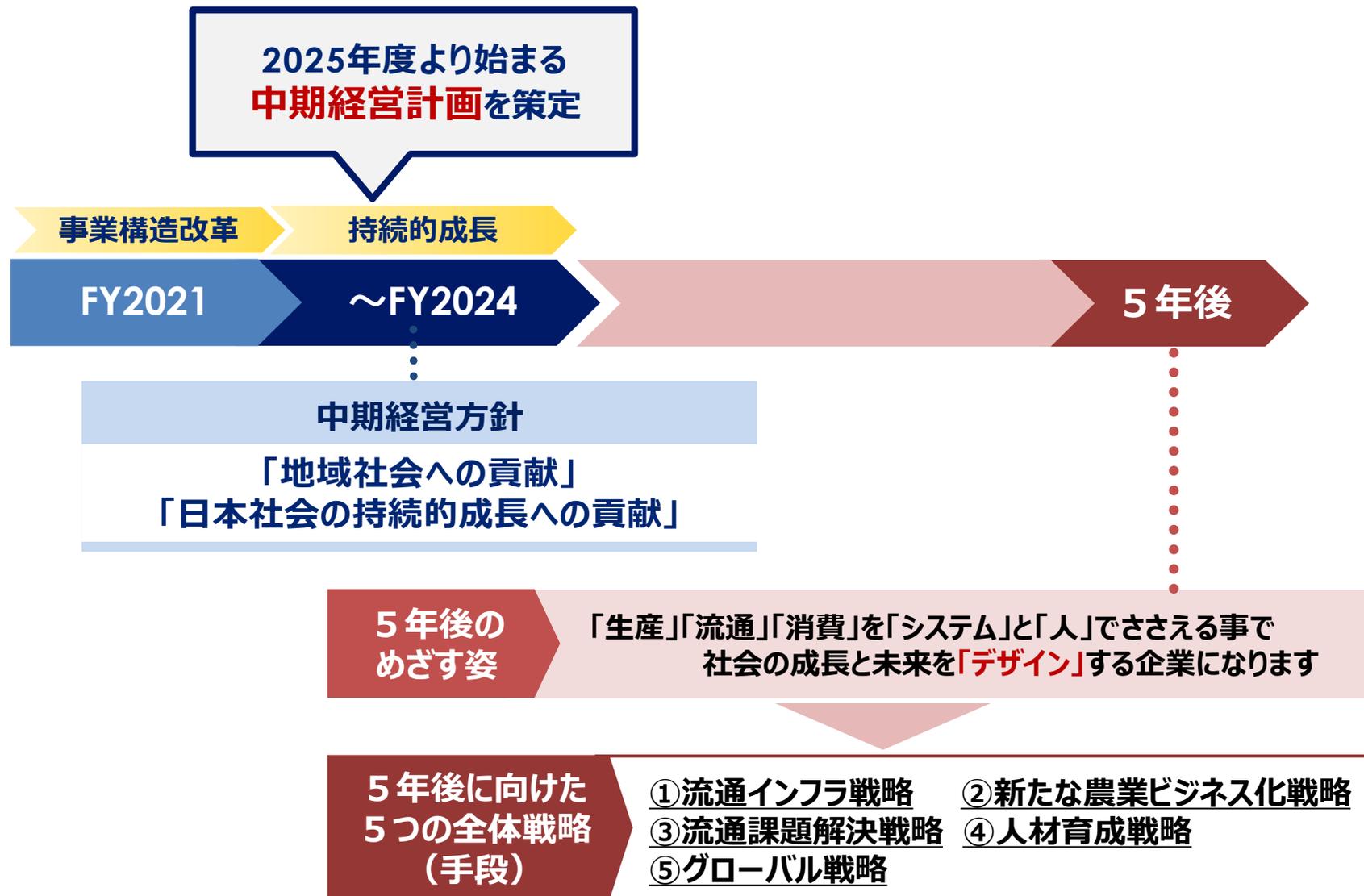
日本の仕組みを海外(主にASEAN諸国)で展開する。
海外の地域社会の発展、持続可能な社会創りにも貢献する。

私たちイーサポートリンクは
地域社会の発展および持続可能な社会の実現のために

「生産」「流通」「消費」を
「システム」と「人」でささえる事で
社会の成長と未来を「デザイン」する企業

になります

“ひとくちの幸せ、ささえてる”



5年後に向けた5つの全体戦略（手段）

① 食の流通インフラ戦略

地産地消を中心とした地域内バリューチェーンを構築し、地域社会の維持発展に貢献します。

② 新たな農業ビジネス化戦略

新たな農業経営者を育成し、農業作業者の確保や物流・販売支援、金融支援、テクノロジー支援（スマート農業）により、持続可能な日本の農業に貢献します。

③ 流通課題解決戦略

テクノロジーや業務改善提案を通じて流通事業者の課題を解決し、環境に優しい持続可能な青果物流通を構築します。

④ 人材育成戦略

社員の活躍の機会と場を提供し更なる成長を図ることで、会社の持続的成長を実現します。

⑤ グローバル戦略

日本の流通システムや技術、商品を海外に展開する事で、事業の更なる成長を実現します。

本資料における注意点

本資料に記載されている内容は、資料作成時点の入手可能な情報に基づき、当社で判断したものであります。

予想に内在する様々な不確定要因や外部環境等の変化等により、実際の業績と異なる可能性がありますので、ご承知おきください。

< 本資料ならびに I R 関連のお問い合わせ先 >

イーサポートリンク株式会社 経営管理本部 経営戦略部 I R 担当

T E L : 03-5979-0784 / E mail : IR@e-supportlink.co.jp